



2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

2022年8月2日

決算概要

新型コロナウイルス影響の長期化、原材料市況・物流費の高騰、地政学リスクの高まりなど、厳しい事業環境が継続。

当社は、上海ロックダウンの影響を大きく受けたが、2022年度の重点テーマの実行を加速し、北米空調事業での挽回や、化学事業の増益により影響を極小化。為替影響もあり、営業利益は前年度並みを確保。

- ✓ 空調事業は、中国・日本を中心に、生産・供給面で上海ロックダウンによる影響を受けたが、米州・アジアで販売を拡大したことに加え、欧州でも、需要が好調なヒートポンプ式温水暖房機器の販売を伸ばした。
- ✓ 化学事業は、半導体・自動車市場の需要回復を捉え、増収増益。

(億円)	1Q実績		
	2021年度	2022年度	前年度比
売上高	7,990	9,678	121%
営業利益	1,093	1,079	99%
(利益率)	(13.7%)	(11.1%)	
経常利益	1,119	1,095	98%
(利益率)	(14.0%)	(11.3%)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	786	706	90%
(利益率)	(9.8%)	(7.3%)	

USドル/円

¥110

¥130

ユーロ/円

¥132

¥138

中国元/円

¥17.0

¥19.6

為替影響 (対前年度)

売上高 +795億円

営業利益 +80億円

(参考) 2022年度の重点8テーマ

1. 戦略的売価施策
 2. 業務用空調強化策など、さらなる販売力強化
 3. 変動費コストダウンの極大化
 4. 物流コスト追加効率化策の実行
 5. 既存固定費の効率化
 6. 2023年度以降も見据えた、調達・供給力強化
 7. FUSION25重点テーマの加速と収益化
 8. 買収会社、大型設備投資の成果創出・収益化
- + 1 世の中の変化をチャンスに、当社の強みを活かし次の飛躍に繋げる
チャレンジテーマ・イノベーションテーマ
(カーボンニュートラル、デジタル)

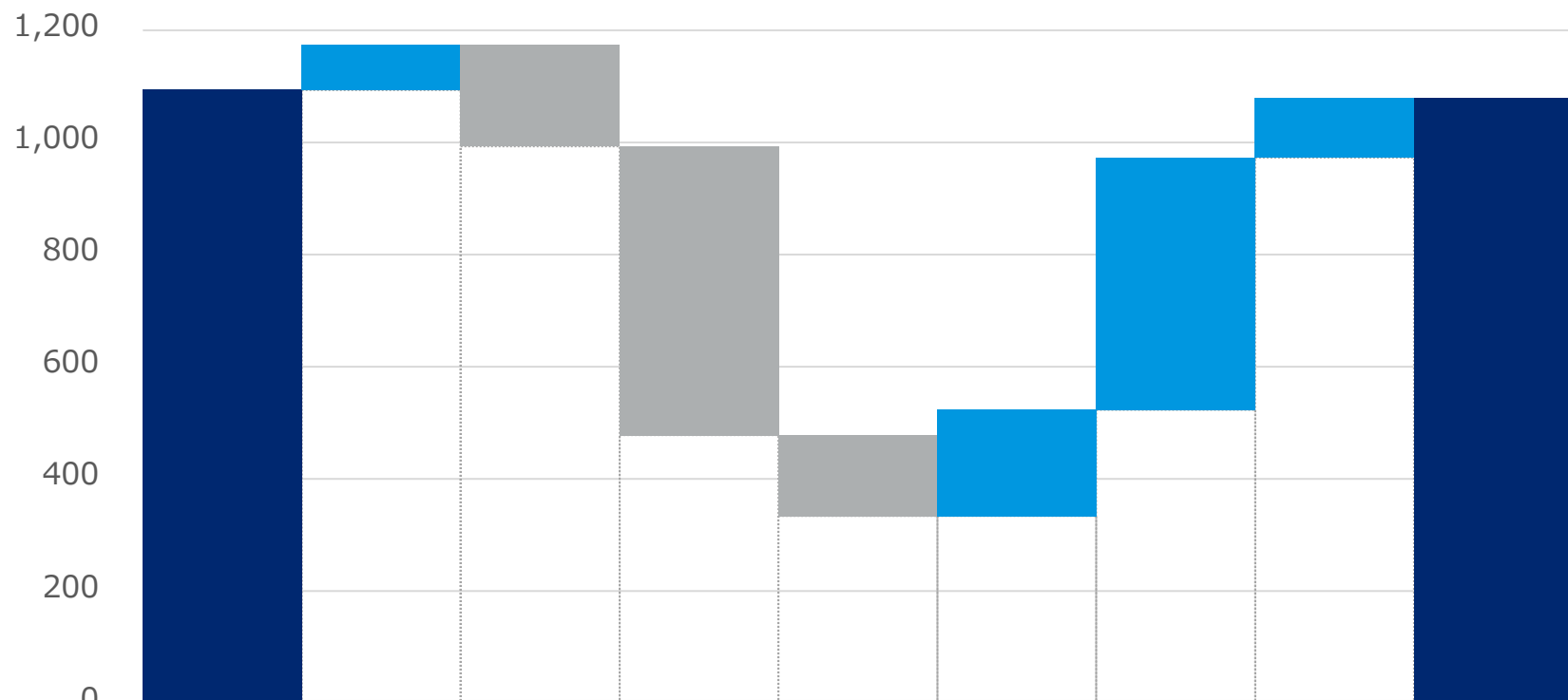
事業セグメント別実績

(億円)		1Q実績		
		2021年度	2022年度	前年度比
全社	売上高	7,990	9,678	121%
	営業利益 (利益率)	1,093 (13.7%)	1,079 (11.1%)	99%
空調	売上高	7,356	8,893	121%
	営業利益 (利益率)	1,000 (13.6%)	945 (10.6%)	95%
化学	売上高	504	639	127%
	営業利益 (利益率)	79 (15.7%)	125 (19.6%)	159%
その他	売上高	129	146	113%
	営業利益 (利益率)	14 (10.8%)	9 (5.9%)	61%

※冷凍・冷蔵事業、フィルタ事業は空調事業に含む。

営業利益増減分析-実績の対前年度比

(億円)



	2021年度 1Q実績	為替	上海 ロッキング	原材料 (物流費含む)	固定費ほか	拡販	売価	コストダウン	2022年度 1Q実績
計	1,093	+80	▲180	▲515	▲144	+190	+450	+105	1,079
空調	1000	+70	▲180	▲478	▲129	+188	+373	+102	946
化学	79	+10	-	▲31	▲11	+1	+75	+2	125
その他	14	-	-	▲6	▲4	+1	+2	+1	8

地域別売上高の推移-空調事業

※パーセンテージは前年度比

(億円)	2018年度1Q		2019年度1Q		2020年度1Q		2021年度1Q		2022年度1Q	
	日本	108%	1,136	112%	1,274	91%	1,163	117%	1,364	97%
欧州	122%	874	107%	938	93%	874	157%	1,370	112%	1,538
中国	110%	1,167	96%	1,124	79%	891	146%	1,300	95%	1,233
米州	110%	1,690	107%	1,807	92%	1,661	133%	2,216	147%	3,251
アジア	109%	775	107%	828	64%	532	138%	735	143%	1,050
オセアニア	125%	183	92%	169	97%	163	138%	225	129%	291
中近東	92%	106	91%	97	75%	72	186%	134	136%	182
アフリカ	116%	19	82%	16	71%	11	115%	13	194%	25
計	111%	5,951	105%	6,253	86%	5,367	137%	7,356	121%	8,893
海外売上高比		81%		80%		78%		81%		85%
USドル/円		¥109		¥110		¥108		¥110		¥130
ユーロ/円		¥130		¥123		¥118		¥132		¥138
中国元/円		¥17.1		¥16.1		¥15.2		¥17.0		¥19.6

地域別売上高の推移-化学事業

※パーセンテージは前年度比

(億円)	2018年度1Q		2019年度1Q		2020年度1Q		2021年度1Q		2022年度1Q	
	日本	115%	123	103%	126	71%	90	147%	132	128%
米州	106%	113	95%	108	71%	77	135%	103	131%	136
中国	111%	98	90%	88	105%	93	133%	123	123%	151
アジア	123%	61	87%	53	88%	47	127%	60	132%	78
欧州	171%	102	63%	64	76%	48	173%	84	121%	101
その他	152%	4	81%	3	40%	1	179%	2	139%	3
計	121%	501	88%	443	80%	356	142%	504	127%	639
海外売上高比		75%		71%		75%		74%		73%
USドル/円		¥109		¥110		¥108		¥110		¥130
ユーロ/円		¥130		¥123		¥118		¥132		¥138
中国元/円		¥17.1		¥16.1		¥15.2		¥17.0		¥19.6

事業/地域別概況-空調事業

日本

上海ロックダウンの影響による供給不足、物価高騰による消費抑制、部材不足による工期遅延などで、住宅用・業務用ともに需要が低迷。当社は、供給力の維持に努め、シェアを向上。売価施策の効果も取り込み、売上高の確保に努めた。

- ✓ 住宅用は、給気換気と排気換気を切り替えられる『うるさらX』など差別化商品の販売を強化。省エネ性への関心、空気質ニーズの高まりを捉え、シェアアップ。
- ✓ 業務用は、施工性を向上したSKY・VRVと、全熱交換器、UVストリーマユニットなど換気・除菌商材を組み合わせたシステム提案に取り組み、シェアアップ。アプライドは、R32チラーなど環境対応機器の販売を拡大。
- ✓ 空気清浄機は、コロナ禍での需要が一巡するなか、業務用途での提案を強化。

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用	業界	84%
	当社	99%
業務用	業界	90%
	当社	95%
アプライド	業界	102%
	当社	114%
空気清浄機	業界	55%
	当社	41%

※アプライドは売上高ベース

事業/地域別概況-空調事業

米州

部品不足などによる供給逼迫で市場は低迷したが、当社は、供給力の向上、販売力の強化、環境対応商品の拡販に取り組み、売上高は前年度を大きく上回った。売価施策の着実な実行もあり、収益性を向上。

- ✓ 住宅用ユニットは、インバータを搭載した商品の販売強化に加え、ヒューストン工場の供給力強化により、拡販。
- ✓ ダクトレスは、RA/SKYで、供給力の向上に努め、シェアアップ。VRVは、買収した販売会社の販売網を活用し、大きく拡販。
- ✓ アプライドは、サービス事業での拡販に加え、販売会社の買収効果もあり、拡販。

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用ユニット		105%
ダクトレス	RA/SKY	97%
	VRV	114%
アプライド		112%

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

事業/地域別概況-空調事業

中国

当社の生産拠点は上海を中心としており、ロックダウンにより4月・5月は生産・物流が停止、製品供給が滞り販売が減少。ロックダウンが解除された6月には、いち早く生産・物流をフル稼働に回復させ、6月単月の販売は前年度を大きく上回った。7月以降、生産を挽回し、通期売上高計画の達成に取り組む。営業利益は、原材料市況の高騰や半導体不足の影響を受けるが、高付加価値商品の拡販、コストダウン、固定費削減に取り組み、これまでの高水準を維持。

- ✓ 住宅用市場では、独自専売店『プロショップ』とオンラインを組み合わせた販売活動を加速し、住宅マルチエアコンを中心に新規顧客の探索や更新需要の獲得に注力。ロックダウン中は、「ライブコマース」、「カスタマーセンター」などオンラインを活用した販売・契約の促進に加え、サービス依頼へのオンライン対応を実施し、販売力を維持。顧客の空気質・環境への関心の高まりを背景に、空気・換気・エネルギー可視化・ヒートポンプ式温水暖房機器などのシステム商品の品揃えを拡充。
- ✓ 業務用市場では、店舗・オフィスで、換気・洗浄を切り口に顧客との接点を拡大。機器の更新・追加購入の需要を取り込んだ。大型ビル向けには、空気可視化・エネルギーソリューションなどの提案を強化。工場向けでは、エネルギー可視化による省エネ提案により、更新需要を獲得。
- ✓ アプライド市場では、インフラ関連、半導体関連など成長分野にリソースをシフトしたことに加え、保守・メンテナンス事業を強化。

前年度比 (現地通貨ベース)	1Q 実績
住宅用	82%
業務用	75%
アプライド	99%

事業/地域別概況-空調事業

欧州・中近東・アフリカ

ロシア・ウクライナ情勢の影響によるエネルギーコスト・物流費の高騰、上海ロックダウンによる供給逼迫など厳しい事業環境。当社は、生販一体となった供給力の強化、ヒートポンプ式温水暖房機器の拡販に注力したことに加え、売価施策の効果もあり、地域全体の売上高は前年度を上回った。

- ✓ 住宅用は、ドイツ・フランスで需要が低迷し販売減となったが、熱波が到来したイタリア・スペインなどで販売を伸ばした。
- ✓ 業務用は、スペックイン活動や納期フォローを徹底。
- ✓ 暖房事業は、ヒートポンプ式温水暖房機器の好調な需要が続くなか、イタリア・フランス・ドイツを中心に各国で大きく拡販。供給力の強化に向け、既存工場能力増強、新工場の建設を決定。
- ✓ アプライドは、工場・病院等の大型物件向けにエアハンドリングユニットを拡販。
- ✓ 冷凍・冷蔵事業は、物流の混乱による部品不足により、生産面で影響を受け、販売が減少。

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用		93%
業務用	SKY	97%
	VRV	90%
H/P暖房		150%
アプライド		112%
冷凍・冷蔵		93%

※住宅用・業務用・H/P暖房は欧州のみ

※アプライド、冷凍・冷蔵は売上高(現地通貨)ベース 11

事業/地域別概況-空調事業

アジア・オセアニア

新型コロナウイルスによる行動制限の緩和により、需要が回復。当社は、独自の販売網の拡充、オンラインツールを活用した販売活動を強化。需要が堅調なインドやオーストラリアでの拡販に加え、売価施策の効果もあり、地域全体の売上高は前年度を大きく上回った。

- ✓ 住宅用は、インドで、販売店との関係強化や猛暑による需要の取り込みにより、大きく拡販。タイ・ベトナムで天候不順の影響を受けたが、マレーシア・オーストラリアでも販売を拡大。
- ✓ 業務用は、建設現場での資材や労働者の不足による着工遅れや工期延長が続くなか、きめ細かな販売店支援により、回復傾向にある需要を確実に受注につなげ、拡販。
- ✓ アプライドは、保守・メンテナンスなどサービス事業に注力し販売を拡大。

■売上高上位国の前年度比（現地通貨ベース）

オーストラリア：118% インド：167% ベトナム：103%
マレーシア：156% タイ：98% インドネシア：108%

前年度比 (台数ベース)		1Q 実績
住宅用		121%
業務用	SKY	127%
	VRV	132%
アプライド		122%

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

事業/地域別概況-化学事業

需要が堅調な半導体・自動車市場を中心に販売を拡大。売上高は前年度を大きく上回った。

- ✓ フルオロカーボンガスは、好調な需要を捉え、欧州や日本を中心に販売を拡大。
- ✓ 樹脂・ゴム
 - フッ素樹脂は、半導体・自動車市場やLANケーブル向けなど情報通信市場で販売を拡大。各地域で前年度を上回った。
 - フッ素ゴムは、需要が好調な自動車市場向けに販売を拡大。各地域で前年度を大きく上回った。
- ✓ 化成品ほか
 - 撥水撥油剤は、中国・米州で、テキスタイルや紙用途で拡販。
 - エッチングガスは、半導体市場の堅調な需要を捉え、日本・アジアを中心に拡販。
 - 表面防汚コーティング剤は、日本や中国で拡販。

前年度比 (売上高ベース)	1Q 実績
合計	127%
ガス	153%
樹脂・ゴム	129%
化成品ほか	117%

事業/地域別概況-フィルタ事業

経済活動の再開を背景に需要が緩やかに回復するなか、安定した供給体制の構築、トータルコストダウン、感染症対策や空気質向上を追求した高付加価値商品の販売を推進。売上高は前年度を上回った。

- ✓ エアフィルタは、米州で住宅用向けに拡販。アジア・日本で半導体市場向けに販売を伸ばした。欧州では、省エネや空気質の改善ニーズの高まりを受け、高性能フィルタの販売活動を強化。
- ✓ P&I※では、原油やガス価格の高騰により設備投資が低迷するなか、需要が好調な欧州での集塵機向けに注力。アフターサービス事業へのリソースのシフトなど、事業体質の改善に努めた。

※P&I・・・ガスタービン、大規模プラント等の業務用集塵システム

設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2021年度		2022年度	
	1Q実績	年間実績	1Q実績	年間計画
設備投資	291	1,563	439	2,100
減価償却費	279	1,153	331	1,250
研究開発費	190	815	232	850

全社業績計画

第1四半期実績の為替影響を反映し、通期計画を上方修正。

- ✓ 第2四半期以降も環境の変化に迅速に手を打ち、さらなる体質強化を図ることで、為替のプラス効果に頼らずに、公表値を上回る業績の達成をめざす。
- ✓ 事業環境は厳しさを増すが、重点テーマ（戦略的売価施策、販売力強化、コストダウンなど）の成果創出を加速し、コストアップ要因のマイナス影響をカバー。

(億円)	2022年度計画							
	(前回公表)				(今回公表)			
	上期	前年度比	年間	前年度比	上期	前年度比	年間	前年度比
売上高	17,100	110%	33,800	109%	18,100	116%	34,800	112%
営業利益	2,000	104%	3,400	107%	2,100	109%	3,500	111%
(利益率)	(11.7%)		(10.1%)		(11.6%)		(10.1%)	
経常利益	2,030	103%	3,450	105%	2,130	108%	3,550	108%
(利益率)	(11.9%)		(10.2%)		(11.8%)		(10.2%)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,400	101%	2,280	105%	1,420	102%	2,300	106%
(利益率)	(8.2%)		(6.7%)		(7.8%)		(6.6%)	

USドル/円
ユーロ/円
中国元/円

¥116
¥126
¥18.3

※2Q以降の為替レート前提については、USドル115円、ユーロ125円、中国元18.0円としております。

事業セグメント別業績計画

(億円)		2022年度計画			
		(前回公表)	前年度比	(今回公表)	前年度比
全社	売上高	33,800	109%	34,800	112%
	営業利益 (利益率)	3,400 (10.1%)	107%	3,500 (10.1%)	111%
空調	売上高	30,470	108%	31,470	111%
	営業利益 (利益率)	3,020 (9.9%)	107%	3,110 (9.9%)	110%
化学	売上高	2,550	120%	2,550	120%
	営業利益 (利益率)	320 (12.5%)	117%	330 (12.9%)	121%
その他	売上高	780	114%	780	114%
	営業利益 (利益率)	60 (7.7%)	90%	60 (7.7%)	90%



予測に関する注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。